

会議名	(仮称)市民参画条例策定委員会グループ会議 土曜日グループ(要旨)		
日時	平成18年12月9日(土) 午後7時~9時	場所	市役所東館7階 701会議室
出席者	火曜日グループ 4名(金子、中野、永田、山本、)		
	職員 1名(和田)		
内 容			
<p>(1) 報告事項</p> <p>次回(12月16日)全体会議の変更について 市民活動支援課 市民相談課に変更 1月の全体会議では各グループがこれまでの議論についての発表 1月の運営委員会で、これまでの議論の中から「ポイント」や「キーワード」をアドバイザー等によって拾い上げて提示する。 拾い上げたポイントやキーワードをもとに、運営委員会で議論の仕方を相談する。 2月からのグループ会議は前述のテーマを基に議論を進める。</p> <p>(2) 地域活動について</p> <p>自治会があれば、社協もあり、福祉会というものもある。もっと整理が必要では。根拠法令が何で、もともとの趣旨は何か。 どういう団体があり、行政とどう繋がっているのかまで調べるべきではないか。 社協のネットワークというのは実によく網羅されてる。 勉強するのは賛成だが、社協等の活動が、我々の狙う活動の話にどうつながるのか。 社協等の活動を広げていくために、我々が活動しているのではない。もっと市民が参画できる外枠を囲むのが我々のやること。 我々がやっている条例は、社協と関わりのない方でもOK。</p> <p>(3) 参画と協働について</p> <p>岸和田市は自治基本条例。芦屋市は「市民参画及び協働の推進に関する条例」西東京市は「市民参加条例」各自治体が様々な枠組みで様々につくっている。 参画と参加の違いは何か。 協働が入ればコラボレーションになる。ただの参画ではダメ。 参画だけでなく協働までついて初めて、意思決定プロセスに携わることが出来る。</p>			

参画して意思決定まで参加し、失敗した場合の、「権利と責任」はどうなるのか。
岸和田市の自治基本条例の5章・6章あたりを焦点にしてやる必要がある。

(4) 参画と協働の仕組みについて

提案した意見を行政が受け取る仕組みを明確にしたい。

理念を前に出した、全体を包括するような条例か、細かい足元をみるような条例にするか、方向性にもらむ必要がある。

最終決定するのは市長でも議会でもない。住民が最終決定する仕組みを入れたい。

声の小さな人の意見も吸い上げることが出来ないと本当の市民参画にならない。

市民がどんどん提言できるシステムづくりが必要。

行政評価制度を条例にうたっていきたい。市民が評価に参画できる仕組み。

(5) 西宮のイメージ

岸和田市は昔からの居住者が市の人口の大半を占めている。西宮市の場合はこの十年で何万人も増えている。違いを考慮して進める必要がある。

郷土愛は岸和田と違い条例にうたいにくいかもしれない。多様性という言い方のほうがいい。

これまでの文化を継承するのはいいことである。

市のカラーを考えたほうがいい。

他市から見ると西宮は関学などがありイメージがいい。

ひとつの市内に大学が10あるのは、兵庫県内をみても他に見当たらない。

人口が急増しているが、西宮に永住する意思が無い人も多い。

(6) その他

広く市民に広報する手段をどうするのか議論の必要がある。

住民の立場の変化、“受益者”から“収益者”(益を受けるのではなく、益を収める)への転換。

メルマガ登録みたいなものがあれば、情報が手に入り易いのではないか。

「市民」の定義は難しい。

住民投票をする場合、20歳で区切れれば不公平感出るのではないか。

社会に出る権利、16歳以上は意思決定に関わる権利があると思う。

(7) 今後の予定

- | | | |
|------------|----------------|---------------|
| (1) 全体会議 | 平成18年12月16日(土) | 午後6時30分~9時30分 |
| | 平成19年1月27日(土) | 〃 |
| (2) グループ会議 | 平成19年1月13日(土) | 午後7時~9時 |
| (3) 運営委員会 | 平成19年1月20日(土) | 午後6時~8時 |